



## 2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東  
 コード番号 5724 URL http://www.asaka.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績（2018年10月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	2,230	△0.5	90	△12.9	79	△24.7	57	△15.1
2018年9月期第1四半期	2,241	9.5	104	79.8	105	119.5	67	186.9

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 48百万円 (△39.6%) 2018年9月期第1四半期 79百万円 (185.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	22.53	22.48
2018年9月期第1四半期	26.62	26.52

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	6,467	3,000	46.3	1,172.04
2018年9月期	6,332	2,990	47.1	1,168.16

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 2,994百万円 2018年9月期 2,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2019年9月期	-	-	-	-	-
2019年9月期(予想)	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,253	△7.1	83	△65.2	79	△68.5	44	△77.0	17.22
通期	8,743	△0.3	248	△26.6	236	△29.2	180	△23.3	70.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	2,572,300株	2018年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	17,161株	2018年9月期	17,161株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	2,555,139株	2018年9月期1Q	2,548,265株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和歴から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、米国と中国の貿易摩擦の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動が懸念されることから、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産は、スマートフォン市場の生産調整、中国経済の減速等により生産が前年を下回りました。また、貴金属・銅の価格は主に米国金利の上昇、中国経済の減速等により前年を下回りました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、前述のとおり主な取引先である電子部品・デバイスメーカーの減産の影響により当社の貴金属の取扱数量が減少し、貴金属・銅の価格も前年同四半期を下回ったことから減収減益となりました。以上から、売上高は2,230百万円（対前年同四半期0.5%減）、営業利益は90百万円（同12.9%減）、経常利益は、外貨建資産負債の評価損及び借入金評価損により79百万円（同24.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円（同15.1%減）となりました。

当社では、企業体質強化のため、既存事業の強化と効率化及び新たな技術開発に取り組んでおります。既存事業では、既取引先の深耕や新規開拓と共に、貴金属材料の供給や光触媒の販路拡大を進めるほか、製造工程の自動化・ロボット化等の効率改善に取り組みました。レアメタル事業では、製品の開発と販売先の拡大に取り組んでまいります。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

また、当第1四半期連結会計期間よりセグメント利益の算定方法を変更しております。これは、「その他」に含まれる「分析事業」との内部取引について、各セグメントに費用を配賦しておりましたが、各セグメントの業績を適切に把握するため、分析事業とのセグメント間取引として処理する方法に変更しているものです。なお、前年同四半期比は、変更後の方法により計算しております。

## (貴金属事業)

前述の要因から、当社の貴金属の取扱量及び販売価格は前年を下回りましたが、主力製品である金の受託加工取引割合が低下したことで製品の販売量が増加し、売上高は微増となりました。セグメント利益は販売価格が下落したことで減益となり、売上高は2,023百万円（対前年同四半期0.4%増）、セグメント利益は68百万円（同6.6%減）となりました。

## (環境事業)

主力製品である銅ペレット及び無機薬品の販売数量は前期と同水準となりましたが、銅の販売価格が前期を下回り、売上高は188百万円（同6.7%減）、セグメント利益は12百万円（同49.4%減）となりました。

## (システム事業)

受注高は前年並みとなりましたが、売上高は11百万円（同45.0%減）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期は4百万円の利益）となりました。

## (その他)

その他に含まれる運輸事業等の売上高は73百万円（対前年同四半期11.7%増）、セグメント利益は6百万円（同67.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて135百万円増加し、6,467百万円となりました。

主な要因は、棚卸資産が227百万円増加し、その他流動資産が76百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて125百万円増加し、3,467百万円となりました。

主な要因は、借入金が81百万円、その他流動負債が49百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて9百万円増加し、3,000百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が19百万円増加し、その他有価証券評価差額金が7百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月9日に公表しております連結業績予想では、スマートフォン需要の一巡による電子部品・デバイス工業分野での減産が継続すると想定し、金の取扱数量はやや減少すると見込んでおりました。また、貴金属の価格についても、米国金利の上昇から低下すると想定しておりました。これに対し、第1四半期連結累計期間の業績は、貴金属の販売価格が当初想定4,200円/gを上回ったことから、前回発表の第2四半期(累計)連結業績予想を営業利益及び経常利益で上回りました。しかしながら、以下に記載のとおり、当社を取り巻く業界環境の悪化が懸念されることから、第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想は修正せず据え置くことといたしました。

①業界環境の悪化による貴金属取扱量の減少

当社グループの主力事業である貴金属事業の業績は、電子部品・デバイス工業分野の国内生産動向及び貴金属の相場変動と連動いたします。このうち、電子部品・デバイス工業分野の国内生産は、スマートフォン市場の生産調整や中国の景気減速の影響により第1四半期から減産に転じ、第2四半期以降も不透明な状況であります。これにより当社グループの貴金属取扱量の減少が継続する場合は業績を低下させる要因となります。

②業界環境の悪化によるレアメタル需要の減少

新たに取り組んでおりますレアメタル事業では、スマートフォン市場の生産調整の影響により高純度酸化タンタルの需要が減少し、当社の販売数量も計画を下回っております。このため、当社グループ上期においては業績を押し下げる要因となっております。

このような事業環境の変化に対応すべく、合理的な設備投資や自動化による業務効率化を進めるとともに、レアメタル事業における炭酸リチウム等の新しい収益源の事業化を進めてまいります。

上記は現時点で把握可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想と異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正が必要な場合は速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,210,638	1,197,141
受取手形及び売掛金	424,034	400,538
電子記録債権	28,843	40,120
商品及び製品	552,179	629,160
仕掛品	379,935	513,639
原材料及び貯蔵品	180,429	196,982
その他	242,481	166,051
流動資産合計	3,018,542	3,143,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,387,044	2,386,115
減価償却累計額	△1,135,528	△1,154,087
建物及び構築物 (純額)	1,251,516	1,232,027
機械装置及び運搬具	2,463,007	2,485,526
減価償却累計額	△2,061,768	△2,059,042
機械装置及び運搬具 (純額)	401,239	426,484
土地	1,240,067	1,240,067
リース資産	29,559	29,559
減価償却累計額	△23,980	△24,524
リース資産 (純額)	5,579	5,034
建設仮勘定	65,510	60,820
その他	204,950	205,592
減価償却累計額	△173,082	△175,416
その他 (純額)	31,867	30,176
有形固定資産合計	2,995,780	2,994,610
無形固定資産	23,121	57,702
投資その他の資産		
投資有価証券	55,268	44,572
繰延税金資産	387	274
退職給付に係る資産	94,167	92,804
その他	145,597	134,369
投資その他の資産合計	295,420	272,021
固定資産合計	3,314,322	3,324,333
資産合計	6,332,864	6,467,968

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	170,479	173,190
短期借入金	1,060,255	1,250,973
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
リース債務	2,354	2,354
未払法人税等	545	3,830
借入金地金	328,868	329,774
賞与引当金	105,761	60,918
その他	192,624	242,248
流動負債合計	2,060,889	2,263,290
固定負債		
長期借入金	899,421	790,269
リース債務	3,601	3,012
繰延税金負債	111,169	123,620
長期未払金	212,226	230,467
資産除去債務	49,106	49,331
その他	5,804	7,437
固定負債合計	1,281,329	1,204,139
負債合計	3,342,218	3,467,429
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	354,211	354,211
利益剰余金	2,117,513	2,136,743
自己株式	△9,546	△9,546
株主資本合計	2,966,473	2,985,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,588	16,716
繰延ヘッジ損益	△4,068	△5,639
為替換算調整勘定	△135	△357
退職給付に係る調整累計額	△2,040	△1,697
その他の包括利益累計額合計	18,342	9,022
新株予約権	1,328	1,328
非支配株主持分	4,500	4,484
純資産合計	2,990,646	3,000,539
負債純資産合計	6,332,864	6,467,968

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,241,291	2,230,055
売上原価	1,797,566	1,786,815
売上総利益	443,725	443,239
販売費及び一般管理費	339,375	352,384
営業利益	104,349	90,855
営業外収益		
受取利息	17	80
受取配当金	89	1,335
受取賃貸料	2,163	1,237
受取和解金	1,500	1,500
為替差益	2,147	—
その他	2,431	1,676
営業外収益合計	8,349	5,829
営業外費用		
支払利息	4,712	4,891
借入地金評価損	599	5,972
為替差損	—	3,315
その他	1,940	3,110
営業外費用合計	7,251	17,289
経常利益	105,447	79,395
特別損失		
固定資産除却損	—	5,606
特別損失合計	—	5,606
税金等調整前四半期純利益	105,447	73,788
法人税、住民税及び事業税	4,579	484
法人税等調整額	30,492	15,853
法人税等合計	35,072	16,337
四半期純利益	70,375	57,450
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,544	△106
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,831	57,557



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	70,375	57,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,125	△7,871
繰延ヘッジ損益	90	△1,570
為替換算調整勘定	△64	△131
退職給付に係る調整額	305	343
その他の包括利益合計	9,457	△9,230
四半期包括利益	79,832	48,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,314	48,236
非支配株主に係る四半期包括利益	2,518	△16

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,014,516	202,397	21,364	2,238,277	3,013	2,241,291
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	62,720	62,720
計	2,014,516	202,397	21,364	2,238,277	65,734	2,304,012
セグメント利益	72,937	24,176	4,287	101,401	4,046	105,447

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま

す。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,023,145	188,829	11,758	2,223,733	6,322	2,230,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	40	—	40	67,111	67,151
計	2,023,145	188,869	11,758	2,223,773	73,433	2,297,207
セグメント利益又は 損失(△)	68,122	12,236	△7,751	72,606	6,788	79,395

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま

す。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「その他」に含まれる「分析事業」との内部取引については、各セグメントに費用を配賦しておりましたが、各セグメントの業績を適切に把握するため、当第1四半期連結会計期間より、分析事業とのセグメント間取引として処理する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の利益又は損失の計算方法により作成したものを記載しております。